

選挙の投票率を高めるためにできること

③ 宮崎市 岡邊夏恋（おこなべかれん）

私は最近、若者の政治や選挙への関心度が低くなっており、若者で選挙に行く人々が少なくなっていると感じています。私が住んでいる宮崎県の18歳～19歳の選挙への投票率を見てみると、全国的に低い水準となっています。自分も今年から選挙権を持つようになり、選挙に行ったことがあります。私は、有権者としてもっともっと若者に政治や選挙に対して関心を持ってもらい、多くの人々が選挙に参加すべきだと考えます。なぜなら、選挙は私たちの未来を大きく変えるものだからであるからです。選挙に出る人々は皆、国やその地域を変えたいと思って選挙に立候補しています。だから、選挙に立候補した方々達はみんな必死です。私たちも選挙に参加して、もっと自分たちが住む地域の未来のことを考えて、私たちが住む地域の未来のために行動していかなければならないと考えます。自分たちの地域のことなので政治や選挙は私たちにも責任があると感じます。つまり、自分たちの住む地域にもっと関心を持って、責任を持たなければならないと感じます。

とは言っても、若者がどうしたらもっと政治や選挙に関心を持ち、選挙に参加するかを考えなければなりません。私は選挙に行ったことがあるが、自分から進んで行ったわけではありません。親の勧めがあったから行ったのです。自分がどうしたら選挙に自分から進んで行くかを考えた時に、選挙に立候補した方々が今後どのようなことをしていくのか、どうやってその町を変えるのかをもっと発信させるといいと考えます。ポスターに名前や顔だけ載っていてもどのような人かが分からないし、選挙カーを走らせていたとしてもあまり聞き取れません。最近ではネット社会となっているので、ポスターを貼ったり、選挙カーを走らせたりするのも良いと思いますが、最近多くの方が活用しているインターネットを利用してもっと多くの人に政治家や選挙に立候補した方々の意気込み、人柄を発信するのも良いのではないかと考えます。これはあくまでも私の考えであるが、もっと多くの人に情報発信をすれば少しは若者たちも選挙や政治に関心を持つのではないかと考えます。情報が発信され、それが有権者達のもとに届くと、有権者達はその中身を重視するようになります。だから、情報がしっかりと発信され、有権者の元に情報が届いたあとは、政治家や選挙に立候補した方々の意見が重要となってきます。

今後、私たちの未来のために必要なことなのか、私たちの未来が明るい未来となるのか、そのようなことを考えて有権者達は立候補します。政治家や選挙に出る人達の思い、その思いをどうやって国民、あるいは、都道府県民に伝えるかが大切であり、その情報が国全体に伝わればもっともっと政治や選挙に関心を持つ人が増え、選挙の投票率も上がるのではないかと私は考えます。そして、政治家や選挙に立候補した人達の思いを届けても選挙に行かない人がいればそれは私たちにも責任があると思うので、若い人たちも国や地域を守る担い手として責任を持たなければならないと考える。その一方で、選挙に行きたくても仕事やそれぞれの事情で選挙に行けない人もいるのではないかと考えます。私はそう思うと、わざわざ選挙に行かなくてもスマートフォンやタブレットなどで選挙に参加できるようにすれば良いのではないかと考えました。行きたくても行けない人がいるのはちょっともったいないと感じます。選挙に参加したくても参加できない人がいるなら何とかして参加させるべきだと思います。情報発信の仕方、選挙への参加の仕方、最近多くの方が活用しているスマートフォンやタブレットを上手く活用することで政治や選挙に興味を持つ人が増え、選挙率が上がるのではないかと考えました。

また、最近では、政治家が何か問題を起こすという報道も多々見られます。このような行動やニュースは国民に対して悪影響を与えてしまいます。国や地域を変えようと頑張っている人がいる一方で、そのような方々がいるのも事実です。政治家や選挙に当選したならばそれなりの責任をもって国や地域の為に頑張ってもらいたいと思います。その一方で、私達も地域住民の一員として、政治や選挙に関心を持ち、積極的に政治に参加していく責任を持たなければならないと考えます。

政治家と国民・地域住民全員で1人の人間として、1人の地域住民として国や地域の未来の為に責任を持ち、そのために政治家や選挙に立候補する人は思いや実行する内容を伝えると共に、私たち住民も選挙に参加して全員で国や地域を支えていく必要があると考えます。